

# バストス週報

第1485号  
 昭和五十年  
 十月二十日  
 月曜日発行  
 Director  
 Koiti Mori  
 Redator  
 Shoho  
 Miyatake  
 Rua 10de  
 Novembro 882  
 C.Post. 112  
 Fone 340  
 BASTOS  
 E. S. P.  
 Annual  
 Cr. 井  
 65.00  
 Adiant.

温室 43

## 老人に恩給

○九月の下旬、サンパウロでは老人週間が催され、講演会、シネマ、老人手芸作品展即売など盛況山の催しがあり、盛大を極めたと報せられた。老人を激励する標語では「老いこむな、君も一人の間折者だ」が第一位に推されるなど、なかなか愉快な催しもあり、其の後各邦字紙に老人恩給制度の記事が発表され、取らぬ狸の皮算用で有難い有難いと誠に賑やかなことである。

○金はあるに如かず、たとえ老人といえども多少の小遣いがなくは淋しくてならぬ。

ところが裕富な老人も可なり多いようで、田舎で家族と住んでいりご隠居さんがぞれた。

「政府が老人に恩給をくれるって、いくらくれるんだ。最賃の半分か、何んだそれ。ぼち」と、なかなか鼻息が荒らく、毎日一千クルレイ口入位なら誰んていだけたくが、といた顔をしたり、貰うことなどは男の恥といた。気骨を持っていてる人もあるようだ。

が、世の中は広い。養老院に入れてもらう人、もういたくない人も多いのである。

七四年十二月に発令された老人福祉法では、生活に困っている七十歳以上の老人を対照として恩給を支給する主旨のようである。

○かつて勤め人であった人達は在職中恩給基金を政府に積み立てたから、六十五歳になると、アポペンタードとなり、金額は一定せぬが、充分に老後の生計が出来る仕組みになっていて、そういふ階層の人は今度の老人恩給の対照にはならぬようである。又、大農、中農で手広く農業をやっている老人、むすこに財産をゆずってしまった隠居さんなら対照になる筈だが、そこがなかなかデリケートな処で、INPSの係官の職眼を通じて及第落第が決定する。

云いかえると、法律の解釈の仕様で、ツパンでは通っても、マリリアではねられるという矛盾が出てくることもあり、現在の老人恩給法がもっと改良されて、

毎度ありがとうございます  
 御食事と御宿泊に  
 御婚礼披露宴とその御仕出しに  
 御家族連れの楽しい御食事  
 御宴会と御会食、御商談に  
 日本食とブラジル料理  
 毎木曜日担当自慢のフエジョアード  
 バストス名物の鯉料理

## HOTEL PRIMAVERA



食堂  
 ホテルプリマヴェーラ  
 森川悠一

電話九二番  
 郭函六〇番

希望する者にはあまりむずかしいこと、めんどろな手続きにより支給されるようになるだろうということである。

○ここであらうと私の知人で綱すきの上手な人の話になるが、オ、クル入市在任の故江利英雄氏、この方は投網作りの名手で、隠居してから、方々から依頼されて投網作りに専念し、何十張り何百張り作ったか、数が判らぬ位だった。

昨年奥さん同道で訪日したが、投網作りの作業が大いに役立ったと自慢気であつた。それにもかかわらず、息子の嫁さんがよく出来た人で、毎月小遣を何百コントかだまっておパイの財布に入れておくし、サンパウロその他へパツシマに行くときなど、やはり黙って旅費一円財布に入れておいてくれる。

「パイは金持つとるから心配せんでもいいよ」と江利さんが云つてもただ笑っているだけという。尤も商売がバールで繁昌しているからでもあるが、息子夫婦には頭かよらぬよと、江利さんはいつも感謝していた様子であつた。



江利さんは不幸心臓病で亡くなつたが、お嫁さんの世話好きで、従つてあつた。お敷行し、暇なときには編作り、小遣いに不自由しないという、老後たいくつしない幸福な生涯を終えた一例として挙げたい。

○私の先輩に加藤与太郎氏がある。此の人第一線で働く八十五歳の大親方。バスと又団扇工場主。うちの両面は自分が貼つておぼろげがすまめという。年産五六万だが、十月から十二月にかけて目のまう多忙さである。朝は五時起床、男女工員のマンダから、製品の送付、集金までする家の者である。

長男はアパテドール運輸請負で車を七、八台常時走らせている程のやりだが「パイパイ、もう年だから、仕事はやめたらよい」と忠告すると、興太郎老は、「わしから仕事を取上げてくださいね、お客さんが儲けさせて下さるのに、僕かんでどうする」と頑張るのである。バスの古老中の働きものである。子供に小遣いもろつて何とする。いや全くその通り。

○グロリアさんの吉田さん、水馬さん、アルツラの農島さん、何れも七十歳台だが、どなたも幹々たる養鶏家、終化業者、多角農のトップ。かうたも元気が精神力の旺盛さは壮年時代と一つもかわつていない。もし変つているとすれば、田舎の福相が加わつたといふことであらうか。この方々小遣いはどうしているだろうか。そんなことボトランチンにききかさい。

○同じくグロリアさんの松森さん。この人七十六歳とは見えぬ健康ぶりである。この方の懐中も相当豊かなものらしく、息子の正さんが大事業家、養鶏も果樹も際限もなく大きなもので、産卵の少ない老鶏の摘出に手が廻らないうのを松森さんが、半日ばかりを鶏舎一巡、老鶏を淘汰してしまふのだそう。

これを処分すると小遣いに多すぎる程の余徳があり、使ひ道に困るとは羨やましい話ではないか。それがあつたか、松森、吉田組はバカブンドの私を仲間へ引き入れ、ムゼウ（移民資材館）作りにかき入れてゐる。

自分でも道楽な仕事を始めたものだと云つてゐるが、世のため、人のため、という娯楽病が、そんなことに拍車をかけるんだらうと云つてゐる。

先例のような幸福な老人は外にも沢山あるだらう。第一線で奮闘しないまでも、家族の一員として老の手で出来る程度の仕事を適当にもつけ、退屈しないといふ七十歳以上の老人は、バストスにはず

# 御しらせ

このたびDR.アルセウデパウラポンテス（歯科医院）の家に法律事務所を聞きまされたから何卒御利用下さい。

営業種目

- 労働者 雇庸契約
  - 商 法 一 切
  - 遺 産 相 談
  - 法 律 全 般
- にわたり親切にサービスいたします

## 開業法律事務所

DRA. ミルテス スッチ。ポンテス

(Dr. アルセウパウラ、ポンテス歯科医夫人)

Dr. パウロレイナルド トレウ

事務所ルアアテマルデパロス

シネバストス下となり

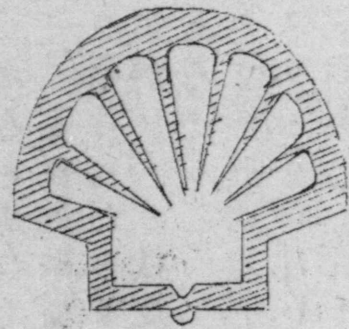
いぶん多く、今の週小遣いに不自由してゐる人は、おそろしくないかも知れない。そんなならお前はどうかと尋ねられると、一寸と自分のことは云いにくいが、これまで「週報」を自分で発行していくらか手数料も入つたものだが、つつまり八十歳の高齡にしては第一線の仕事、割合に健康であつたが、昨年あたりから眼界を感じるようになったので、重要な仕事は現在の宮武さんに肩代りしてもらひ、編集の一端、文章などだけにして体を休ませてもらつてゐる。

それと娘二人は三十年も前に他家に嫁してゐるので老妻と二人切りの生活である。養老院にも入れてもらつてもいいが、老人恩給の車を身にしたので、条件が通過するかどうか、とりあえず、石川法律事務所へ依頼してみたい。必要な書類といふのは

- 1 カルテイラ、イデンチダグデー (身分証明書)
- 2 バサホルテ (旅券)
- 3 結婚証明書
- 4 寫真二枚

の由である。申請書を出す場合は、本人がツパンのINPS支所へ出頭しなればならぬが、石川法律事務所が係員が同通してくれらうのである。簡単に通過するのやら、通らぬものやら、ま、や





# Goto Posto e Peças LTDA.

Toshio Goto e Hêlio Tadao Goto

Rua Adhemar de Barros, 310

Telefone; POSTO 304 Loja 398 Resid. 047 e 181 BASTOS S.P.

永い間ガソリーナホスト  
 「PIIITI-GOTO」名にて経営  
 に当り、皆様の御愛顧に預り  
 まして厚く御礼申し上げます。  
 此の度び都合に依りまして、  
 新らしくポストエペッサス、  
 リミターダ後藤利夫、エリオ  
 忠男後藤共営にて発足する事  
 になりました。  
 今後一層の御引立を賜わり度  
 御願ひ申し上げます。

アデマル デ バーロス 街 三二一〇番

## 後藤 利夫

## 忠男後藤共営

郵函 七四番

電話 ポスト 三〇四番

ペッサ 三九八番

住宅 四七番

一八七番



つてみれば判らぬが、それ程むずかしくなかつたら、条件の同じような人は依頼してみるとよろしい。

只、家族が裕福で、老人の生活に差支ない場合はだめかも知れないという点の解釈が、どの程度であるかが問題のようである。

○ところがバストスではまだ誰も申請手続きをしていないか、又あつても二人か三人であるに比し、ツパンではすでに一五〇人以上手続きが出来ている由である。お恵みを受けるといふ卑屈な考え方を捨て、法によつて行動すると思つてよいのだから。

他の都市では、日伯文化協会が世話をしている処が多いようだが、バストスでは石川法律事務所が取り扱つてくれるので、同所へ御問い合わせになるとよいだろう。

了 糸 音

### 皇室外交と

### 天白皇の英語

九月三十日羽田を出発され、翌十月一日にはウイリアムパーク空港に御到着になつた天皇后陛下は一日御休憩なさつただけで二日にはワシントンに御着予定の通り北米側の正賓としてフォード大統領の晩餐会をはじめ御返礼、その外次々と御訪問、御会見と息づく間もない、ハドスケジュール(多忙日程)を二週間もこなして行かれるのは並み大抵の御行動ではあるまい。七十四歳にもなられ緊張しずめの御旅行は普通の老人には無理である。物見遊山のレジャーだつたら面白か、たご清むだらうが、天皇の場合は国賓という固苦しさの外、公非に拘らず英語を遣はられるだらうし、英語りなことであらう。

天皇の英語というのと、どの位のお力であらうか、訪米前皇后へ外人記者を招き、インタビューされたとき、色々記者の質問をあらかじめ提出させてあつたにしろ、それをさいた外人記者が天皇とのインタビューは情緒を欠いたものだと言つた。そうだが、天皇の英語が彼らの欲する様なペラペラでないこと位わかりそうなものだ。吾々はよく英語で御返事をするものと感心するのだから、それも日本の国交関係、訪米の御感想、大戦の幸など、普通の挨拶や買物会話とちがつて、つまみ可な会話力では、とてもござることはい。両陛下御一行には福田副総理をはじめ一流の官吏が居り、通訳官も居るとだから、両陛下の会話にことかく苦は

**FABRICA de GRANITO FLORA BASTOS**  
 T. MORIMOTO & FILHOS LTDA  
 Rua Duque de Caxias 524 - F. C.P. 174  
 Fone; 29 Bastos S.P.

養鶏不況時に備えて果樹園育成  
 果樹園に成功の秘訣は良種の苗を選ぶ  
 ことが先決問題です  
 農林省公認の森元農場で優秀な  
 改良の新種果樹苗をおえらび下さい  
 果樹苗一切・庭園用日本松・杉・松・  
 ツツジ・ツバキ・モミジ・バラ・その他  
 花木類いろいろ。植林用樹苗・  
 セツソンを巡回して居りますから  
 よろしくお願ひいたします

**森元苗木本舗**  
 電話 二一九番

**FABRICA de GRANITO**  
 Av. Rio Branco 9n C. Post. 23, Fone 515  
 ADAMNTINA E.S.P.

日本式及ブラジリス  
 墓 碑 記念 碑  
 胸 像 石 燈 籠  
 石 白 もち 白  
 石材彫刻類の一切製作  
 古い墓の修理もいたします  
 アダマンチーナ市リオブランコ大通り  
**大西石碑工場**  
 大西文吉 郭函 二十三番  
 電話 五一五番

た会話に陛下御自身が発言なさる方が気が持の上でより親密なものを相手に感じさせるだらう。その意味では、どんなに上手に英語をしゃべる人より天皇の御発言は大きな印象を興えらるだらう。それが皇室外交の最大の偉力である。

御訪米前には大戦当時米国民が抱いていた対日悪感情を未だ持ちつづけている人が居るかも知れぬという危懼がないこともなかつた。いよいよとなつたら「真珠湾は水に流そう」というおらかな盛り上りに変わったということも、天皇の発散される親米感、又は親愛観とでもいふべき人間臭ではないかと思つた。

王リザベス英女王が常時たたえていたスマイルが日本にひどく好感を興えていたように、両陛下の自然に発散するスマイルは、米人諸君の心をなごましたことと思つた。

皇室外交というものは、皇室を持たない米人諸君にとつても確いあこがれとして、いつまでも印象にのこるであらう。

拉歌  
 さごかには見えねどどほつか茂りたる  
 庭樹の緑りがしずくしやまず 塔前



# ブラジルに最初の足跡を印した人達

(三十六回)

故 鈴木南樹翁の遺著より

(三)

柏谷龜五郎は北海道根室に始めて出来た小学校の初代校長であった。その頃の根室は町であつた。たか村であつた。たか知村であつた。町といつても恐らく村に少し毛の生えた位いな所であつたろう。柏谷は町長石橋嘉蔵(石橋恒四郎の実父)かう命ぜられて教材其の他の買入れのため上京中であつた。龜五郎先生と呼ばれて町民敬慕の的となつた人だけに、今日の学校教育者の如く旅館に陣取つて威張る様なことをせず、下宿に泊り込んで経済をすゝる位の素朴な心掛けを持つていた。従つて山県の心境に對する理解も同情も、人並みならぬものがあつた。山県が試験に落第して氣を腐らうじているということが解ると、

「おい山県、軍人もよいが、人生豈に必ずしも軍人のみならんや。どうだ貴様、一つ北海道に俺と一緒に来んか。青山は至る所にあるぞ」

軍人の代りに金を儲けろ。これからの世の中は金が必要だ。駄目だ。北海道の漁業を見る、あの豪快な仕事は此度貴様の氣に合ふというのである。呑み込みの早い山県のことである。

「よし、頼むぞ、俺は一文無しだがお前に貸して行く」

こう云つて彼はがはとはかりに柏谷に抱きついた。感激しやうい彼の眼から涙がはろはろとこぼれた。

「お前の旅費は俺が少し経済すれば何とかなる。じゃ行つて大いにやろう。根室には石橋という物の解る親爺が居る」

こう云つた柏谷は厄介者を背負込むと、去るより、寧ろ山県の様な有為な青年を連れて行くといふことは根室のため、北海道のため、大にしては日本のためだと思つた。その頃の人間には今日の功利主義万能の時代に生れた人には、理解されない一種の人間味があつた。

柏谷と彼とは連れ立つて根室に戻つて来た。町長石橋は果して柏谷が彼を引連れて来たことに對し苦痛はさしはさまなかつた。三人で色々相談の上根室の町は未だ小さいが、漁業期と休業期とに分れて景気不景気の差がひどい。それには吃度古着、古道具などの売買が面白いといふことだ。古着、古道具屋を開業した。資本は云うまでもなく石橋町長が出した。山県は恐らく二十歳位であつたと思つたが、軍人志願を一蹴すると、もう恩栄も

外聞もない。成りも成つたり古着、古道具屋とは随分思い切つたものである。しかし、そこに彼のひたむきな「こうとなつたら何でもやる。矢でも鉄砲でも持つて来い」といふ絶倫の精力があつた。

古物の商売は思つた程でもなかつた。うだが、相当の利益があつた。翌年からその利益で海産物の仲買にも手を出した。何しろあの通り体の大きい彼の二十代である。はち切れそうなきエネルギーが肉体に盛り上つていた。仰くことに夜昼の区別のない彼である。古物の商賣もよいか。海産物の仲買も悪くない。しかし何か協会がなければ此のまま進んでは容易に大きくなり得ない。彼は鶴の眼鷹の眼で機会をねうつていた。

「人生は山嶽の如し。低い所にばかり居てはいけない。一度絶頂に飛躍しなければならぬ」

どうしても一山張らなければ其の次の山を越すことが出来ないというのが彼の出世哲学であつた。遂に機会が来た。それは毎年不漁つづきの鮮魚区をまるで無味の様な安値で売るといふのである。彼の考えでは海水はその不漁つづきの漁区にもつづいて行ける。大空の鳥は何処へでも飛んで行く様に鮮魚は海水のある限り何処へでも泳いで行く苦である。無論鮮魚の生活に直不適があるに違いない。しかし

## 家譲り度し

店舗 住宅付

総面積 20メートル×40メートル

家屋面積 40メートル×12メートル

25メートル×8メートル

場所 デイス、デノベンプロ街と

アテマルデバロス街の角

商業店舗に最適

家事の都合上に依りお譲り

致します

委細面談

中原一郎



1975年9月分 バスドスの気温と降雨量 プラ拓製糸株式会社 測候部

日	気温 °C	湿度計 °C	湿度 %	最高 気温	最低 気温	降水量 mm	風向	天候	雲量
1	29.0	20.0	37	33.0	16.5		N	○	
2	26.0	20.0	52	35.0	19.0		N	○	
3	24.0	19.0	57	31.0	15.0		E	○	
4	27.0	20.0	47	30.0	16.0		E	○	
5	29.0	18.0	25	32.5	19.0		E	○	
6	31.0	19.0	21	33.5	12.0		E	○	
7	28.0	19.0	36	35.0	12.5		E	○	
8	28.0	20.0	42	35.5	17.0		E	○	
9	31.0	22.0	39	35.5	15.0		E	○	
10	32.0	20.0	22	38.0	20.0		E	○	
11	31.0	21.0	33	36.0	19.0		E	○	
12	29.0	22.0	48	34.0	17.0		N	○	
13	31.0	18.0	15	34.0	17.0		N	○	
14	30.0	20.0	32	35.0	16.0		E	○	
15	29.0	21.0	43	36.5	16.0		E	○	
16	27.0	20.0	47	35.0	15.0		E	○	
17	26.0	20.0	52	34.0	17.0		S	○	
18	28.0	21.0	47	33.0	17.5		S	○	
19	28.0	20.0	41	32.0	17.0		E	○	
20	28.0	21.0	47	33.0	17.0		E	○	
21	27.0	20.0	47	34.0	19.5		E	○	
22	29.0	21.0	43	31.0	17.0		N	○	
23	28.0	23.0	60	35.0	20.0		W	☁	3
24	22.0	20.0	80	27.5	18.0	8.0	W	☁	5
25	25.0	20.0	58	25.5	17.0		E	☁	2
26	17.0	15.0	78	30.0	16.0		S	☁	7
27	20.0	18.0	79	20.0	15.0	2.0	E	☁	5
28	25.0	20.0	58	30.0	15.0		E	○	2
29	31.0	22.0	33	33.5	15.0		N	○	
30	22.0	20.0	80	34.5	19.0	9.5	N	○	8
31									
合計	819.0	600.0	140.0	982.5	502.0	19.5			
平均	27.3	20.0	4.6	32.7	16.7	0.6			

気まぐれにいやな所をやつて来ないとも千島附近で暴風遭遇し、大破損を蒙った。多限うない。何時も大当り力漁区を手に入北米の船積を有する帆船を買った。多れる様な資本のかかることなど彼にとくくの人には、「山県はあんな船を買ってどては何時のことか解らない。ねらい所はうするつもりだろう」と笑った。しかしそこにある。生活の山とはこれだ。やれ間もなく買手がついて大利益を得た。彼ノ、万難を搦してやれ。彼は自ら厳然とが海運業に興味を覚えるに至ったのは此して命争した。そして先ず石橋町長を口のラツコ船の大儲けに起因する。それが説き落し、不足ではあつたが金を出させら三百噸の都丸、つづいて積本武揚が函で、そのあまり鮮の寄つて来ないと云う館に逃走した船隊の内の一隻であつたと漁区を一と思いに買つてしまつたのである。買ったのもラツコ船で味を占めたためであつた。彼の商売戦術は半ば以上冒險的であつた。虚を突くと云う風で、海運業に、漁

(四)

運というものは不思議なもので、何処にもあるか解らないものである。山県が買鮮に、仲買に、彼の手は恰も千手観音のう前には殆ど鮮の寄つて来なかつた漁区様に四方八方に広げられた。千町歩もあがどういふ風の吹き廻しか、其の年に限る政府勤経営の根室牧場が、收支決算のって毎日海水の色が変わつて来た。どうして鮮が競り合ひ押し合つて大襲来である。円を買つた。それは無粋の様な安直である。漁場は宛然鮮の山で足の踏み入れる所は此の牧場で生れ、牛馬の取扱方に似てもないという賑いであつた。真に意外な世の中にトントントン拍子と云う言葉がある。二十年前の三万円は今日の想像もつかぬ大金である。彼は遂に一山張り当てたといふことはなかつた。

彼はこの三万円を徒らに寝せて置くより本格的になるに至つて、本居を根室から函館に移した。こつい風で金はいくら



あつても足りなかつた。儲けても儲けても彼の経済は決して楽ではなかつた。三百噸位の船に乗つて彼自ラアラソウ、ベリリング海方面にオットセイなどの密猟に行つたのも此の函館時代である。

一難を突破する毎に彼の資本が大きくなり、新らしい事業が開始されて行つた。其の黄金時代は恐らく東京に本店を移すに至つた頃であつたらう。先ず海運部に二千噸、六百噸の汽船が三隻、兼るに倉庫業と海産物仲買、農牧部として北海道にヒカサ所、釜山部に石炭山が北海道に二つ、満州撫順に一つ、秋田県に銅山一

つ、マツチ製造所が北海道にニカサといふ風に、今日の所、コソツエルンなるものは、規模は小なりと雖も我が山県勇三郎に依つて、既に明治三十六年時代に出現していたのである。従つてその経営網

は東京を本店として、支店は根室、函館、小樽、釧路、室蘭など、流石に北海道は其の事業の根拠地だけに多く、内地には横浜、大阪、神戸、門司の四都市にあり、尚大連、奏皇島など満支迄手を延ばすと云う盛況ぶりであつた。

彼が明治十二年陸軍の学校入学試験に落第して、裸一貫で北海道に渡つてから僅かに二十数年間に、どうしてこう云う成功を勝ち得たかと云うに、少くとも二、三の原因を数うる事が出来る。其の一は彼の豪放大胆な性格が、丁度北海道の開け始めに持つて来いであつた事と連である。彼は我々がノ口工ステ開拓當時にやつた様な危い繩渡りをしている。空手形を書いて銀行を三つも四つもぐる

盤廻しをして割引をする。それがうまく濟ぎつり得るか否かは人力の問題でなく、運勢如何に依つて決すると云う外はない。或人の話に依ると山県は自分の持船が横浜なり、神戸なり、大連なりから出帆すると、積んでもいない荷爲替を組んで北海道の函館や小樽で割引をする。どう

せ自分の店をやる細工であるから、どうか辻褄を合せて行ける間は、ありもしない荷物から現金がいくらでも湧いて来て事業の発展資金が得られる訳である。こう云うと彼はあまり芳しくない賭博

の様なことをつたつたと思ふ人があるかも知れないが、こんなことは一文無しかう成り上つた程の人には誰でも遺る手である。産を起した大岩崎が維新当時賑を

つたとか、大倉が日露戦争時代賑を石ころを入れたとか、眞偽の程は知らないが、色々噂がある。それから見れば山県のやつたこと位、これも虚偽が真実か保證の限りではないが、まあ、罪の軽い方とすべきであらう。

以下次号へ

# ノストラダムスの大予言は 当ると思ますか？

只今サンパウロで上映中の東宝映画「ノストラダムスの大予言」は連日超満員だといふ。

バストスでは信太さんの好意で来月二日、三日に上映されることになつてゐる。

「ノストラダムスの大予言」とは三百五十年昔フランスの予言者ノストラダムスの大予言で、ルイ十六世やナポレオンの崩壊やヒトラーの自滅と連合軍の勝利まで予言してあるといふのである。

その予言によると、あと二十五年で人類は滅亡するといふのである。予言書の著者五島勉氏に対する大批判、これにこたえたのが前二回にわつて本誌に掲載したが、今少し五島氏の話に耳を傾けてみよう。

## 破滅の前兆をまえに

しかし、誤解されると困るが、私はなにも、神がかり的な心情でノストラダムスを絶対だと信じてゐるのではない。彼

### 御禮

去る九月十三日、十四日の支部対抗野球大会に於いて当区青年団が優勝致しました。此左記の方々より過分御祝儀を頂きました。厚く御礼申上げます

ウニオンⅡ区青年団

- 星島パウロ 様 炭一美 様
- 河西静男 様 西坂実 様
- 栗田実等 様 木場茂盛 様
- 河西静男 様 岩槁 様
- 清竹雄 様 森王 様
- 板垣清成 様 生方正義 様
- 入江均 様 畑中留太郎 様
- 西川 様 鈴木 様
- 土井繁男 様 板垣梯一 様
- 具岐保雄 様 橋岡パウロ 様
- 中原克己 様 溝越 様
- 廣瀬栄吉 様 板垣達志 様
- ウニオンⅡ区会 様 京野安治 様



が残したものは、いつてしまえば「たかが予言」であり、あくまでも非合理的な暗示である。

そこには多くの見落としがあり、たとえ「バ・ホレオン・ヒトラ、ケネディに関すると思われる詩は出てくるが、ペーリー・グレンやリンカーンや毛沢東に関すると思われるものは出てこない。表現も、明確なものもあればアイマイなものもあり、いつ、どこの事件を暗示しているのか解釈不可能な詩も少なくない。

だが、こうした多くの欠点にもかかわらず、彼がやはり、不可解な超能力にみちみかされた人類最大の予言者だったことは、疑うわけにはいかないと私は思う。「人々は空をこえて旅をする」「奇怪な音の鳥が来るとき、小麦の値ははね上がる」「莫大な消費のち、巨大モーターが時代を変える」……どれ一篇をとってみても、偶然に酔興で書き残されたときめつけるには、あまりにも現実と符合する占が多すぎる。

最近の状況と符合するものとして、とくにおそろしいのは「天地も大気も水もひえていく／怖れの木曜日／四つの場所からそれははじまり／その日は胸にさざまれる」という第十卷の七一。これはぶきみにも、一九九九年の破滅の詩のほんの一つ前に出てくる。

この詩を読んだから、「赤道直下で毛布を使わなければならぬような時代が来ている」(根本順吉博士)、「今度の小氷河期のピークは一九九九年に来る」(朝倉正博士)といった気象学の専門家の話を聞くと、あまりのぶきみな一致に私は心底ふるえあがるのである。

要するに「大予言」のベストセラード的考察なんてもうどうでもよい。人類は今や破滅からまぬがれる緊急対策が必要だし、英知を集めた新らしい政治が必要なのだ。

「大予言」もそのための小さなテコのひとつであつてはしい。だから私はさきの十四歳の若い読者といつしよにさげぶ。「減じるかもしれないのに、人間自身が招いた終末の危機がどこまでせまってきたのに、人類よ、日本人よ、いまのまま正しいのか」と。

以上が「ノストラダムスの大予言」の翻訳者のことばである。

私は此の記争の初頭に述べたように、こうした神がかり的予言には眉をひそめたくなるのだが、これは私が人一倍頑固なせいかも知れない。

しかし、世間では予言を信ずる人は多いらしい。それはキリスト教の聖書に予言という言葉が記されてあるからであろう。

# 雹害御見舞

去る十月五日、暴風並びに大降雹の爲被害甚大の趣さぞかし御落胆の事と諒察致します。

今年は七月の大降霜に次ぐ早皰と火災・あまつさえ今回の台風と大降雹の襲来による受たる損失に至つては何とお慰め申すべきや、只々裡心より謹んで御見舞の御挨拶申上る外はございませぬ。ひたすら各位の御健闘を御祈りします。

右取り敢えず御見舞の御挨拶まで申上げます。

一九七五年十月十日

## バストス南米本願寺

### 各位

仏教の釈迦には予言も奇蹟もない。只予言と言えは、無量寿経の下巻の最後に、

「無得以我滅度之後復生疑惑当来世経道滅尽我以慈悲哀愍特留此終止住百歳」(我滅度の後を以て復疑惑を生ずるを得ること無かれ。当来の世に経道滅尽せんに、我慈悲を以て哀愍し、特に此の終を留めて止住すること百歳せん)

この釈尊の予言も決して神がかりでも超能力でもない。「わしが死んでから後に何百年、何千年かすると、わしが説いた経道は滅びてしまふであろう。その時のためこの終をのこしておいてやろう」というのであるから、超能力的予言ではないが、信じる者は少ない。

根拠のある予言なら信すべきだが、信する人は少ない。石油、石炭などは私共が小学校時代に、あと幾十年を待たずして埋蔵量が尽きると教えられた。

事実戦前アメリカは石油の輸出国で、私共が日本で居た時代は、ガゾリン・ナホストはみな「スタンダード」と書いてあった。その頃アメリカが石油を輸入しなければならなくなるという学者の根拠ある予言を信じただろうか。

同じく日本の食糧問題は私達青年時代から学者の調査によつて、五十年後に必ず日本は食糧難に襲われると聞いていたが、この根拠ある専門学者の予言を日本



# ADVOCACIA

D<sup>ra</sup> MYRTHES NUTI PONTES  
D<sup>r</sup> PAULO REINALDO TOVO  
(Advogados)

Rua Ademar de Barros, 379, Fone: 098  
BASTOS. E.S.P.

CAUSAS TRABALHISTAS -  
COMERCIAIS - INVENTARIOS  
ETC  
Advocacia em geral.

esposa do D<sup>r</sup> ALCEU DE PAULA PONTES  
(DENTISTA)

## 過酷なる自然現象

の政治家たちはどう聞いていたのか、戦後稲作農業技術は農家のたゆまぬ研究と努力の甲斐あって増収をみるようになる。と、ヤレ米を食うな、牛肉を食え、牛乳を飲め、パンを食えで米が餘って困るか、減収政策で、水田を荒れ放題にしておくと政府から金をくれるという馬鹿なことにになった。近年は天候異変が続くようだが、もしも北米の農界が大不作に見舞われたら日本は何処から食糧を需めるのであろうか。石油も食糧も少なくなれば、何層倍に値上りするか、誰も予言も想像も出きまい。

お盆、十一月二日(金)三日(月)に上映される「ノストラダムスの大予言」という映画は、地球上に人口が溢れ、食糧がなくなり、氷河期の訪れ、石油も石炭も汲みつくし掘り尽くし、これらの燃焼した煤煙と分難した気体が充満した空に核エネルギーの副産物の放射能を含む雲雨に包まれ、人類はおろか地球上の生物全滅を招きつつある現代の人類への忠告であらう。見落してはならない映画である。

○本年七月の大降霜は五十年来稀に見る災害であったが、降霜後の大ヒツカ、ついで十月五日の台風と自然はなかなかきびしい。暴風に襲われたのはパウリス夕線パノラマ市、ルセリア市、イアクリ市、ソコ線ではブルデンテ市などがひどい被害だった模様である。

バストスでは落雷騒ぎで、小澤養鶏場の伯人少年が感電死した。同日雷害もサウデー区では相当の被害だったらしい。田中氏の西瓜畑はさんざん奪にたたかれ全滅に類したそうだ。

○これは日本の訪だが、今年二度目の台風第十三号が八丈島をアタックして、十月五日全島二千五百戸が損傷を受けたと

いう。日本は天災の多い国で、それに比べれば伯国はいくらがましだが、最近の一連の災害は何ともひどいものであった。

おねがい

愈々本年もあと二カ月余で新年を迎えることになりました。

就きましては新年特集号の年賀広告の御注文を頂きに参上致すべきですが、人手不足でお伺い出来かねますので、誠に恐縮ながら御電話下さいませ。すなわばお伺い致し度く存じます。御電話にて御お知らせ願います。

バストス週報社

おしらせ

来る十一月一日、二日の

おぼんには毎年のように、

墓地前にて花輪、ローソク、

線香、マツチなどを墓参者

者のために用意致しますから

御利用下さい



バストス仏教婦人会

御礼

一金封

石は御母堂様三十三回忌の御供養のため、特別に御進納下さい、有難く御礼申上げます。

弓削文枝様  
バストス南米本願寺 会計



# 御禮

去る十月七日の夜突如暴風と共に稀有の大降雹の襲来を受け、当区サウデーは殊の外大害を蒙りました。何れも鶏卵大の雹にて鶏舎の屋根垂室など盡く破壊され、雹に打たれて幾死せし鶏の数知れず、桑園に至っては一枚の葉さえ残さず叩き破られ、鳥に四令、五令期を迎えた蚕を涙を呑み捨てざるを得なくなりました。様子を見れば早速多数の方々が馳せつけ、御丁寧なる御見舞の御言葉いだき感激に耐えませんでした。尚、バストス産業組合様から過分の御見舞を頂戴致し、誠にありがたく厚く御礼申し上げます。実は一々御礼にお伺い致さねばなりません。向分後片付けなどにとりまされ、その意を得ませず、取敢ず紙上を以って御礼の御挨拶に代えさせていただきます。

一九七五年十月十日  
サウデー区

円谷金一

バストス産業組合御一同様  
各位様

# 御禮

去る十二日夜はじめての企画の日語学校演芸会開催にあたりまして皆様の大なる御協力と、バストス日伯化協会様よりの多大なる賞品を賜わり、盛会裡に終らして戴きましたことを紙上を以って厚く御礼申し上げます。

一九七五年十月十三日

バストス日語普及会

バストス在住各位様

# 日本語放送

アソデスの声

毎晩 7時と8時半(30分づつ)

短波 19メートルと25メートル

番組

NHK 時事ニュース・音楽  
童謡・民謡・講話・歌

バストス  
福音ホーリネス教会

# 御禮

去る十月七日の夜突如大暴風と共に大降雹の襲撃を受けました。何れもサウデー区は鶏卵大の雹飛来のため甚大な被害を蒙りました。鶏舎、蚕室の屋根は盡く打ち砕かれ、雹に打たれて幾死せし成鶏の数知れず、桑園は一枚の葉を止めないまでに打ち叩かれ、四令蚕の飼育もならず涙を呑んで捨てなければならなくなり、途方に暮れて居りましたが、様子を知らせて馳せつけて来て下さいました。皆様から御懇切なる激励と御見舞の御言葉を頂き、気を取り直し再建に立ち向いました。他事乍ら御放棄下さい。尚、バストス産業組合様からは過分の御見舞を頂戴いたしました。誠に有難く厚く御礼申し上げます。被害後の修復と片づけに迫われ、御礼にお伺い出来かねますので取急ぎ紙上を以って御礼申し上げます。

一九七五年十月十日  
サウデー区  
杉本祥 袂

バストス産業組合御一同様  
各位様

# ☆去る日曜日の催し



去る十二日の日曜日は催しが多く、それぞれ大賑いだった。プラ拓製糸会社では従業員及び家庭慰安運動会をトルソン(稔糸工場)裏の運動場で二千余の観衆を集めて愉快な珍ゲームで夕方まで賑った。これまでエスクルソンなどが多かったが運動会は今回がはじめの模様。

又中央カノンではミニ野球、クルベ優勝戦が行われ、ロークリタルベが優勝した。夜は綜合会館で日語学校生徒の演芸会が催され、小さい子供たちの可愛らしい踊りや、対話劇など次々くりひろげられ、大衆はよろこばれた。(詳細は後報)



死亡通知並に会葬御禮

父、藤井萬田市（七十四歳）儀数日前より健康すぐれず、バストス病院へ入院致して居りましたが、次第に快方に向いましたので医師に許され、本人の希望通り退院して療養につとめて居りました処、去る十月十日午前八時急変手当の甲斐なく逝去致しました。依って翌十一日午前十時自宅出棺、バストス墓地に埋葬仕りました。此の儀生前御交誼を頂きました辱知各位へ謹告申し上げます。追って葬送に際しましては御多忙中態々遠路御会葬下され、且つ又御丁重なる御香料並びに花輪等御供え下され誠に有難く厚く御礼申し上げます。

実は一々御廻礼申し上げねばなりません、取込中にこそこの意を得ませず、甚だ勝手乍ら略儀紙上を以って御礼の御挨拶に代えさせていただきます。

一九七五年十月十日

ファルツーラ区

喪主 藤井 三 小  
 妻 一 遺 族 一 一 代  
 親戚代表 金 川 悟  
 友人代表 舛 永 一 郎

- フラタタ製系株式会社 様
- バストス連合俳教婦人会 様
- ファルツーラ区 会 様
- ファルツーラ青年会 様
- ファルツーラ農友会 様
- ファルツーラ婦人会 様
- バストス仏教婦人会 様
- バストス南米本願寺 様
- PLバストス会員一同 様
- バストス養蚕家一同 様
- ファルツーラ農業倶楽部 様
- 御会葬者 御一同 様

フラ拓製系株式会社様には特別の御りはからいを頂きます。ご感謝いたし謹んで御礼申し上げます。



# CAIADO PNEUS S.A

PRACA DA BANDEIR 37 FONE 2103 TUPA S.P.  
PNEUS, CÂMARAS, ENCRADOS, RODAS, E ACESSORIOS



ツパン市電話二一〇三番へ  
お問い合わせ下さい

## カイアド・プネウス

ツパン市プラサダバンデイラ三七番

**好条件販売**  
ペネウス  
カマラス  
インセラードス  
アッセンリオス  
等を、フライツで、レか  
も無利子にて販売  
其他好条件奉仕販売

# NOSSO RELOJOARIA

TAKAMI SHIBATA Rua Adhemar de Barros 213

Fone 154

## 柴田時計店

電話一五四番

レロ・ジョアリアタカミ

ル・アラマテルデバロス 二一三番地

御進物用品・おみやげ用品一切

写真機・8ミリ撮影機・映寫機・幻灯機

ラジオ大小各種・蓄音機・扇風機新型

銀器・陶磁器・フアケロ・室内裝飾品

高級腕巻時計とホル時計

世界中の有名時計が揃っております。

ガスライター各種・電気ヒゲソリ各種

めがね・宝石・ゆびわ・アクセサリー

超小型電子計算機

ホルンに入る小型で警報約高性能堅牢無比

音楽愛好に必需品、各種音響の物凄い迫力は

実演・そのまま、録音に再生に、幼児教育に、

カラーでなければ味わえぬたのレシ、

カラーでなければ味わえぬたのレシ、

テレビはカラー時代

# Anúncio de Cine Bastos

十月十九日(日) 九時半 二十日(月) 八時 監督 貞永方久  
高橋幸治 水野久美  
夏純子 関根世津子  
米倉喬加年 三国連太郎

区者は神か悪魔か、白い巨塔が挑む ターティドクタ

十月二十一日(火) 二十二日(水) 両夜とも八時 監督 岡本喜八  
勝新太郎 三股敏郎  
米倉喬加年 若尾文子  
岸田 森 瀧沢修

勝がかまえた、三股が抜いた、逃に完成した地上最上のチマンバラ映画、

十月二十四日(金) 八時 二十五日(土) 九時半 監督 野村芳太郎  
岩下志麻 有田由紀  
栗塚旭 松山英太郎  
平幹二郎 淵美清

日本中の恋人「おはなはん」、総天然色でリサイケル

十月二十六日(日) 九時半 二十七日(月) 八時 監督 市村泰一  
栗野みゆき 牧紀子  
中宗根美樹 園井哲介  
山本豊三 月兵夢路

哀愁のヒットメロデーで綴る美しき姉妹の恋、

十月二十八日(火) 二十九日(水) 両夜とも八時 監督 田中繁 男 三益愛子  
川口 浩 小野道子 野添ひとみ 根上淳  
見明凡太郎 八潮悠子 川順 マチ 若尾文子  
品川隆二 穂高のり子 京マチ子 菅原謙二  
船越英二 鶴田浩二

東宝 肥後 大型  
日本映劇は義理人情親子・姉夫、兄弟の愛を描くことによりて発展した、三益愛子の母物三十年記念作品、

十月三十一日(金) 八時 十一月一日(土) 九時半  
浅田美代子 津島恵子  
志垣太郎 沖雅也  
村野武藏 志麻みすえ

「同時代」愛と誠に続く青春大作！

川は流れる

あした輝く